

スポーツの振興

～スポーツで創る、笑顔・ひと・元気とやま～

県民がスポーツに親しむ環境づくり

- 〔拡〕 「富山マラソン2019」の開催 9,772万円
 - ・ 富山県スポーツフェスタの開催 1,127万円
 - ・ 東京オリンピック機運創出支援事業 173万円
オリンピック、日本代表選手等を招き、スポーツ体験会等を実施
- 〔新〕 東京2020オリンピック富山県聖火リレー準備事業 2,000万円
 - ・ 県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催 500万円
県民歩こう運動推進大会・元気とやまウォークラリーの開催
 - ・ 元気とやまスポーツライフサポート事業 280万円
 - ・ 元気とやまスポレク推進事業 198万円
 - ・ 「富山湾岸サイクリング2019」の開催 180万円〔親交地〕
- 〔新〕 「とやまサイクリングフェスティバル(仮称)」の開催 400万円
 - ・ 子どもから大人まで身近にサイクリングの楽しさ等を味わえるイベントの開催
 - ・ サイクリングコースの整備 1億円〔土庫〕
- 〔新〕 極東杯国際ヨットレース開催支援事業 200万円〔親交地〕
 - ・ 日本初勝致とる環日本海沿岸4国(日・中・韓・露)参加の国際ヨットレース開催を支援
- 〔新〕 「ねんりんスポーツフェスタ」開催事業 550万円〔厚生〕
 - ・ 高齢者や子どもが楽しみながら交流できるウォークラリーの実施やスポーツ等の体験の場の提供等による運動習慣の定着を支援
 - ・ 障害者スポーツ活動総合推進事業 1,995万円〔厚生〕
 - ・ 県営スポーツ施設の整備〈公共・主要県単〉 6億1,000万円
 - ・ 都市公園における老朽化施設の更新等 3億6,000万円〔土庫〕
(総合運動公園陸上競技場インフィールド改修やトラック競技速報表示器の更新など)
 - ・ その他スポーツ施設の設備や用具の整備等 2億5,000万円
(うちオリンピック枠5千万円、トレーニング機器の更新等)
 - ・ 健康・スポーツ環境充実検討事業 100万円
健康・スポーツの推進方策や施設整備等について総合的に検討
 - ・ ガンバレ富山応援バス事業 315万円
 - ・ プロ直伝!とやま夢づくりスポーツ塾開催事業 200万円



富山マラソン



富山県民歩こう運動推進大会



富山湾岸サイクリング2018 (429開催)



極東杯国際ヨットレース



全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

- ・ 2020東京オリンピック・パラリンピックとやま戦略事業 215万円
- ・ 2020東京オリンピックホストタウン・合宿誘致推進事業 119万円
オリンピックの事前合宿誘致活動やホストタウン構想への活動を支援
- ・ 東京オリンピックを目指すジュニアアスリート育成サポート事業 300万円
- ・ 2020東京オリンピック選手育成強化事業 215万円
- ・ TOYAMAアスリートマルチサポート事業 920万円
スポーツ医・科学に基づく一貫した体力トレーニング体制を構築し、将来オリンピックや世界で活躍できる選手を育成
- 〔拡〕 県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 1,200万円
オリンピック等で活躍が期待できる本県の選手や指導者を支援
- ・ サッカー・野球・駅伝強化事業 1,500万円
県の重点強化種目について、一貫指導体制に基づいた効果的な強化策を実施
- ・ 障害者スポーツ応援事業 70万円〔厚生〕
県民向け障害者スポーツ体験イベントの開催
- ・ 未来のアスリート発掘事業 600万円
- ・ 元気とやまスポーツ道場開催事業 2,000万円
- 〔新〕 とやま・なんと国体2020開催事業 2億500万円
2020年2月にスキー国体を開催(競技会・式典の運営、機運の醸成など)
- ・ 合宿・遠征等の活動に対する支援(対象:国体41競技) 1億2,995万円
- ・ 障害者スポーツの全国大会・国際大会出場に対する支援 300万円
- ・ 学校体育団体全国大会参加激励費 692万円〔教委〕



2020東京オリンピック・パラリンピックとやま戦略会議



全中相撲準優勝 吳羽中 浦山選手



福井国体 ハンドボール競技 少年男子 優勝



2018世界選手権 バドミントン男子(準優勝) 園田・嘉村選手 [トナミ運輸]



2018アジア競技大会自転車 個人追い抜き2位、団体追い抜き3位 近谷 亮 選手(三和シャッター)

学校等における体育・スポーツの充実

- 〔拡〕 部活動指導員配置促進事業 2,317万円〔教委〕
教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、部活動指導員を配置
- ・ 武道指導者資質向上支援事業 332万円〔教委〕
武道の授業に地域人材を派遣し、教員の指導力の資質向上を促進
- 〔新〕 とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 100万円〔教委〕
地域のスポーツ人材を活用した幼・保・小・中学校教員の運動指導力向上の支援
- ・ スーパーとやま元気っ子育成事業 179万円〔教委〕
体力づくりシート「新みんなでチャレンジ3015」立山編・富山湾編の活用
- ・ 中学生・高校生の全国大会出場に対する支援 4,909万円〔教委〕



武道指導者 資質向上支援事業



とやま元気っ子スポーツライフ サポート事業(イメージ)

スポーツを支える人材の養成及び活用

- ・ スポーツエキスパート活用推進事業 1,405万円〔教委〕
学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者を派遣
- ・ スーパートレーナー設置事業 581万円
県代表選手の競技力向上のため、オリンピック等で日本代表選手をサポートした経験のある専門知識を有したトレーナーによる支援を実施
- ・ 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業 300万円



スーパートレーナーによるトレーニング指導

※所管部局名のない事業は、総合政策局所管事業

環境施策の推進

☆循環型社会と低炭素社会づくりの推進

◆「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた資源効率性・3Rの推進

- ① いつでも、どこでもリサイクル促進事業 100万円
(民間事業者による資源物の回収拠点の認定)
- ② いつでも、どこでもマイバッグ運動推進事業 220万円
(県内企業が参加する「ノーレジ袋実践ワーク」のモデル実施)
- ③ 食品ロス削減アクション拡大事業 370万円
〔食品ロスモニター調査の実施、食材の使いきりに関するイベント講師のマッチング、手付かず食品を活用した料理の写真を募集、小売店による先進的なモデル活動の支援など〕
- ④ 食品ロス・食品廃棄物削減対策事業 1,037万円(農林)
〔商慣習の見直し宣言事業者の募集・フォーラムの開催、消費者向け買い物かご用 啓発シートの制作、啓発イベントの開催など〕
- ⑤ 「とやまのエコフィード」利用推進支援事業 510万円(農林)
〔食品廃棄物を飼料として活用するための保冷庫や飼料混合機の整備費に加え、運送費等を支援し、流通モデルを実証〕
- ⑥ エシカル消費啓発事業 100万円
(エシカル消費(環境などに配慮した消費)の普及啓発のため、リーフレット作成や広告を実施)
- ⑦ PCB廃棄物早期処理促進事業 1,000万円
(県内のPCB含有安定器の使用・保管状況を把握するための調査の実施)



とやま 食ロスゼロ作戦



◆ 地球温暖化対策の推進

- ・ とやま環境未来チャレンジ事業 350万円
〔小学校で温暖化・3R・食品ロス対策に関する学習プログラムを実施し、家族ぐるみで実践の促進につなげるもの〕
- ⑧ 循環型社会・低炭素社会づくりに向けたエコライフ推進事業 190万円
(気候変動やプラスチックごみなどをテーマとした親子向け講演会等の開催)
- ・ ノーマイカー運動拡大推進事業 250万円(親交地)
〔県民に広く公共交通を利用した通勤・通学を呼びかけ、過度にマイカーに依存した生活を見直すきっかけづくりを提供〕
- ⑨ 立山荘受電設備等設置事業 1億4,100万円(教委)
(弥陀ヶ原への商用電源供給に伴う立山荘の受電及び省エネ設備の導入)

◆ 再生可能エネルギーの導入・水素社会実現に向けた取組みの推進

- ・ 農業用水を活用した小水力発電の推進 4億8,702万円(農林)
- ⑩ 県営発電所老朽化対策事業 1億1,648万円(企業)
(老朽化した4発電所の大規模改良(リプレース)に向けた概略設計を実施)
- ・ 地熱資源開発調査事業 12億円(企業)
- ・ 再生可能エネルギー利用促進資金 6億円(新規融資枠15億円)(商労)
- ・ 産学官イノベーション推進事業「新商品・新事業創出枠(環境・エネルギー分野)」 200万円(商労)
(成長産業分野の産学官連携による技術開発や新製品開発の促進)
- ⑪ 水素ステーションの県内整備への支援 4,000万円(商労)
- ⑫ 燃料電池自動車普及促進事業費補助金 500万円(商労)
(燃料電池自動車を導入する個人・法人に対する支援)



☆国際環境協力の推進

◆ 北東アジア地域の総合的な環境保全・環境教育の推進

- ⑬ 北東アジア地域自治体連合(NEAR)環境分科委員会の推進 168万円
〔NEAR環境分科委員会の開催、「2016とやま宣言」に基づく実施状況や今後のプロジェクトなどの協議〕
- ⑭ 海洋環境シンポジウム開催事業 100万円
〔海洋環境問題への理解促進、県や(公財)環日本海環境協力センターの取組みをPRするシンポジウムの開催〕

◆ NOWPAP地域調整部への支援

- ・ 国連機関(NOWPAP地域調整部)への運営協力 5,249万円(総政)



環境・エネルギー先端県の実現

☆自然環境の保全

- ⑮ ICT活用型安全登山総合対策事業 706万円
(オンライン登山届の導入、登山道の難易度を評価したグレーディングの制作・公開等)
- ⑯ 立山エリア山岳診療支援事業 100万円
(支援医師の助言を受けるために山岳診療所から映像を送信する通信機器を配備)
- ⑰ 立山自然保護センター魅力アップ事業 520万円
(1階レクチャールームへの最新映像機器の導入)
- ⑱ 指定管理鳥獣捕獲等事業 4,237万円
(イノシシ等の捕獲を専門とするチームを4地区に配置(2地区→4地区))
- ⑲ ツキノワグマ個体数推定調査事業 880万円
(ツキノワグマの個体数管理の基礎となる5年ごとの生息状況調査を実施)
- ⑳ ライチョウ王国とやま発信事業 150万円
(ライチョウボランティア5周年記念活動、サポート隊の保護活動を実施)
- ㉑ ナチュラリスト・ジュニアナチュラリスト連携事業 150万円
(自然への理解の深い子どもを育成するため、ナチュラリストと連携した調査研究や体験活動を実施)



☆生活環境・水資源の保全

◆ 生活環境の保全

- ⑳ ふるさと水環境保全活動者養成事業 220万円
(水環境の保全活動に自ら取り組む人材を養成するための講座や調査体験会の実施)
- ㉒ 水生生物保全のための水質環境調査 240万円
(新たに追加された環境基準項目の2物質について、河川水質の常時監視の実施)
- ㉓ 海岸漂着物対策の推進 1億13万円(生環・土木)
 - >発生抑制対策(1,213万円)
 - ① 使い捨てプラスチック等に関する消費者意識調査(100万円)
 - ② 海岸漂着物実態調査(443万円)
 - ③ スマホアプリを活用した清掃活動の推進(300万円)
 - ④ スマホアプリを活用した清掃活動の推進(8,800万円)
 - >回収・処理(市町村補助を含む、8,800万円)
- ㉔ 「美しい富山湾」環境保全事業 420万円
(県内全域での清掃活動の展開、湾クラブ総会前の海岸清掃の実施)
- ㉕ 大気汚染常時監視システムの更新 202万円
(大気汚染監視テレメーターの機能強化と情報提供を拡充)
- ・ 伏木富山港公害防止対策事業 2億9,100万円(土木)
- ・ イタイイタイ病資料館管理運営事業 4,588万円(厚生)
(特別企画展、語り部事業、資料館に来て・見て・学ぼう事業等の実施)



◆ 水資源の保全と活用

- ㉖ 地下水環境健全化推進事業 100万円
(地下水節水技術の調査、節水技術集による啓発の実施)

◆ 漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業 1,133万円

- ① 国際的な海岸漂着物の調査活動及び日本海沿岸諸国での取組みも含めた発生抑制学習会の実施
(北東アジア地域の自治体等の関係者が事例発表や情報交換する会議の開催)
- ・ 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業 285万円
(北東アジア地域の青少年による意見交換や環境保全活動による次世代のリーダーの育成)
- ・ 富山湾リモートセンシング事業 100万円
(人工衛星を活用した遠隔観測技術による富山湾沿岸部の藻場調査の実施)



◆ 環日本海環境協力センターへの支援

- ・ 環日本海環境協力センター(NPECC)支援事業 8,543万円
(NOWPAPと連携した海洋生物多様性保全や富栄養化対策等の推進)